

## 第52次夏期内陸ドーム旅行実施計画(案)

重点研究観測AJ3「氷期-間氷期サイクルから見た現在と将来の地球環境」  
 一般研究観測AP1「南極からの赤外線・テラヘルツ天文学の開拓」  
 モニタリング観測AMP4「南極氷床の質量収支モニタリング」  
 公開利用研究「南極氷床コア分析と気候モデリングに基づく  
 氷期・間氷期の気候変動メカニズムの解明」

### 参加メンバー(10名)

#### 52次夏隊

気水圏雪氷 L 本山秀明、倉元隆之(極地研)、新堀邦夫(北大低温研)

南極天文 高遠徳尚(国立天文台ハワイ観測所)

#### 52次夏隊同行者

公開利用研究: 気水圏雪氷 小端拓郎(極地研)

同行者: 雪氷 日下稔(北見工大大学院)、南極天文 沖田博文(東北大学大学院)

#### 51次越冬隊

装備・フィールドアシスタント SL 立本明広、機械 内田新二、医療 岡田豊

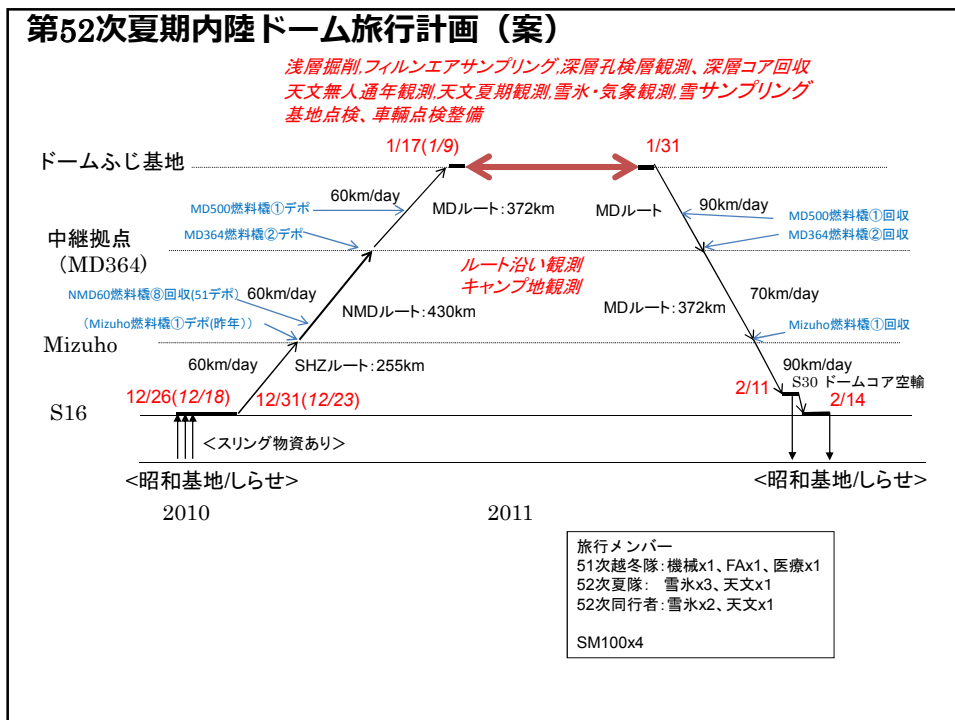
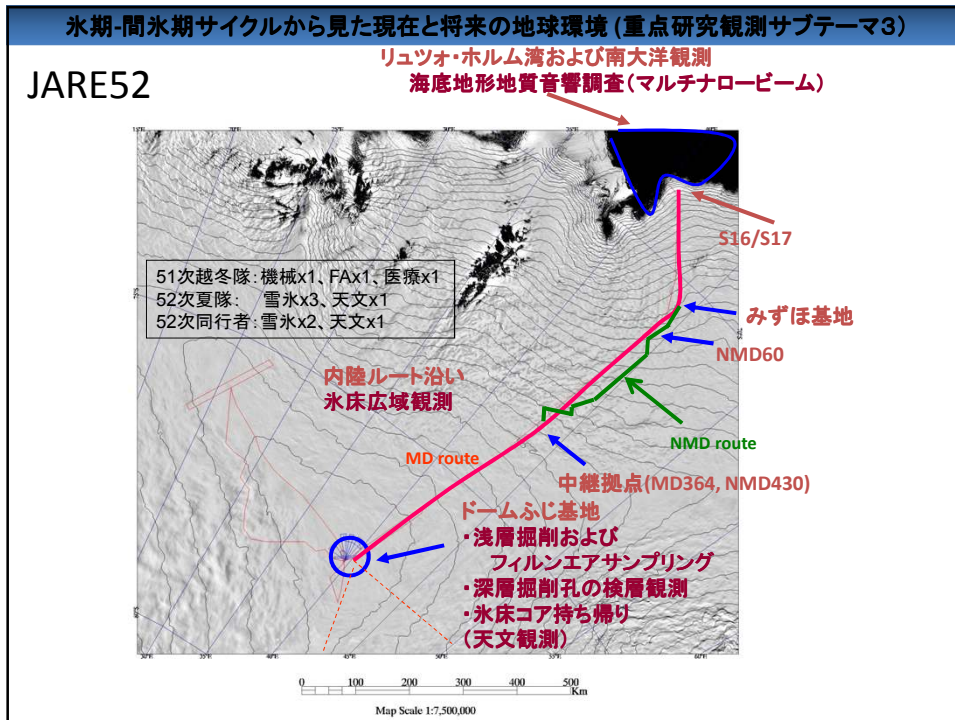


## 第52次夏期内陸ドーム旅行実施計画(案)

### 目的

- 1) ドームふじ氷床深層コア持ち帰り200梱程度(残り200梱は54次隊で実施)
- 2) ドームふじ基地での120m程度の浅層掘削及びフィルンエアースAMPLING
- 3) ドームふじ基地深層掘削孔の検層観測
- 4) 浅層掘削孔のフィルンのCO2濃度測定と氷温プロファイル測定(公開利用研究)
- 5) ルート沿いの雪尺、雪尺網観測、降積雪サンプリング
- 6) 雪氷・気象観測
- 7) 無人気象観測装置(+無人磁力計のデータ回収及び保守)
- 8) ルート沿いGPS観測
- 9) 南極天文観測  
口径40cm赤外線望遠鏡と赤外線撮像装置、2連小型望遠鏡とCCDカメラ、口径25cm固定望遠鏡とCCDカメラ、小型近赤外線分光装置、自動発電モジュール・装置モジュール(PLATO)、音波式大気乱流プロファイラー(SNODER)、気象用20m伸縮ポール、イリジウム通信装置、全天カメラ
- 10) 医学的研究
- 11) 次世代の内陸装備調査
- 12) ドームふじ基地発電機のたちあげ・運用、車輦・その運用
- 13) その他





ドームふじ基地での作業(最短日程の場合)

	全体作業	雪氷・掘削チーム	天文チーム	
ドームふじ着	キャンプ体制後休養			
1	物資整理・ドラムデボ(から様づくり)	作業室暖気、3号発電機稼働	物資整理、観測段取り	
2	氷床コア回収準備、コア回収・機積	検層準備	天文観測作業	
3	コア回収・機積	検層観測		
4	(コアオベ予備)	検層観測、撤収、発電機OFF		
5	ドラム缶つぶし	36本雪尺、AWS、無人磁力計		
6		掘削地点へ移動、掘削場設営		
7	車輛整備1	掘削準備、掘削・コア処理・フィルンエア採取		
8	車輛整備2	掘削・コア処理・フィルンエア採取		
9	車輛整備3	掘削・コア処理・フィルンエア採取		
10	車輛整備4	掘削・コア処理・フィルンエア採取		
11		掘削・コア処理・フィルンエア採取、水温測定		
12		撤収、コア機積、ドームふじ基地に移動		
13	機編成、出発準備	DF80雪尺、表面雪採取		撤収、出発準備
ドームふじ発				

